009년 5월 18일 보낸 편지입니다.(1,228조회)

왜 여행을 떠나는가
なぜ旅行に出かけるのか

우리가
私たちが

여행을 떠나는 것은
旅行に出かけることは、

다른 이들은 어떻게 사는지,
他の人たちは、どのように生きているのか

그들에게서 본받을 만한 것은 무엇인지,
彼らから、模範に値するものは何なのか

그들이 현실과 삶의 비범함을 어떻게
彼らが、現実と人生の優れていることを、どのようにして

조화시키며 사는지 배우는 것이다.
調和させ、生きているのかを学ぶことだ。

- 파울로 코엘료의《흐르는 강물처럼》중에서 -
- パウロ・コエーリョの<ながれる川の水のように>より -

* 배움에는 끝이 없습니다.
* 学ぶことには、終わりがありません。

인생 자체가 배움과 여행의 연속입니다.
人生自体が、学びと旅行の連続です。

남을 통해서 배우고 그것을 내것이 되게 하는 것이
他人を通して、学んで、それを自分のものにすることが

진정한 배움입니다. 나 혼자만의 작은 우물에서 벗어나
本当の学びです。私一人だけの小さい井戸から抜け出して

나와 남, 내 고장과 남의 고장, 내 나라와 다른 나라를
私と他人、私の故郷と他人の故郷、私の国と、他人の国を

견주고, 살피고, 조화를 이루는 것입니다.
比較して、よく観察して調和を遂げるのです。

그래서 여행을 떠납니다.
だから、旅行に出ます。

만-하다
<보조형용사>{여 불규칙활용} 語尾 '-ㄹ·-을' の後に付いて, 動作·状態などがそれに値する程度であることを表わす:…に適する;ほどよい;十分に…できる。
비범함 非凡
강-물 [江―]
[명사] 川の水。
자체 [自體]
[명사] 自体;人や物の本体;それ自身;そのもの。
진정 [眞正]

[명사·하다형 형용사] 真正。
<1> [명사·하다형 형용사] まちがいなくそれであるさま;何もまじっていないさま。
고장
<1> [명사] (大勢の人が寄り集まって住んでいる)一定の地方;地元。
<2> [명사] ふるさと;故郷。
견주다
<1> [타동사] (二つ以上のものの質·量などを)比較する;比べる;にらみ合わせる。
<2> [타동사] 競う;張り合う。
살피다
<1> [타동사] 注意してよく見る;うかがう;見回す;調べる。
<2> [타동사] 観察する;推察する;探る。
이루다
<1> [타동사] ある状況や結果になるようにする;成す;つくる。
<2> [타동사] (事を)遂げる;果たす;完成する;完了する。

파울로 코엘료
パウロ・コエーリョ(Paulo Coelho、1947年8月24日 -)は、ブラジルの作詞家、小説家。ブラジル文学アカデミー会員。
略歴 [編集]

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロに生まれる。大学の法学部に進学するも、1970年、突然学業を放棄して、旅に出る。メキシコ、ペルー、ボリビア、チリを経て、ヨーロッパ北アフリカにも足を伸ばす。2年後、ブラジルに帰国して、流行歌の作詞を手がけるようになり、人気歌手ラウル・セイシャスに詞を提供する。1974年、ブラジルの軍事独裁政権に対する反政府活動に関与との嫌疑を受け、短期間投獄される。
その後、しばらくレコード制作を手がけるが、1979年、再び仕事を放棄して、世界を巡る旅に出る。1987年、『星の巡礼』(O Diário de um Mago)を執筆刊行して、作家デビューを飾る。これは彼がスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへいたる巡礼の道を歩いた体験を下敷きにしたもの。この本はあまり大きな成功をもたらさなかったが、翌年の1988年に出版した第2作『アルケミスト - 夢を旅した少年』(O Alquimista)はブラジル国内で20万冊を超えるベストセラーとなり、38ヵ国の言語に翻訳された。以降の著作は世界中の国々から様々な文学賞を受賞している。
現在、妻のクリスティナと共にリオ・デ・ジャネイロに在住。

2009년 5월 19일 보낸 편지입니다.(1,121조회)

'두번째 일'
〃2番目のこと〃

'두번째 일'을 가져라
〃2番目のこと〃を持ちなさい

나의 본업은 의사이지만, 글을 쓰고 책을 내는 것이
私の本業は医者だが、文章を書き、本を出すことが

내게는 '두번째 일'에 해당한다. 이것은 취미라고 하기에는
私には〃2番目のこと〃に該当する。これは、趣味だともいえ

내 인생에 있어 무척 소중한 일이며, 나는 나름의 소명의식을
私の人生にあって、とても大切なことであり、私はひとつの天命

가지고 글쓰기에 임한다. 막연히 취미로 즐기는 것에
もって、(自分自身を)物書きに任じた。漠然と趣味で楽しむことに

그치지 않고 확실한 목표를 가지면 더욱 좋다.
とどまらず、確実な目標をもてればさらによい。

인생의 기둥이 두 개가 되는 것이다.
人生の柱が、2つになるのだ。

일생을 걸고 할 수 있는 일이 하나 더 생긴다고
人生をかけ、出来ることが、もう一つ生じると

상상하는 것만으로 마음은
想像することだけでも心は

풍요로워질 것이다.
豊かになるだろう。

- 사이토 시게타의《유쾌한 카리스마》중에서 -
- 斎藤 茂太の＜愉快なカリスマ＞ -

* '첫번째 일'도 힘든데
* 〃1番目のこと〃も大変で

어떻게 '두번째 일'까지 가질 수 있느냐고 할지 모릅니다.
どうやって〃2番目のこと〃まで持つことが出来るのかと、言われるかもしれません。

그러나 경우에 따라서는 두번째 일로 인생이 바뀌는
しかしながら、場合によって2番目のことで人生が変わる

사람들이 많습니다. 즐겁고 격조있는 취미는
人たちも多いです。楽しく格調ある趣味は

그 자체만으로도 삶을 풍요롭게 합니다.
それ自体だけでも、人生を豊かにします。

사람을 더욱 빛나게 합니다.
人をさらに輝かせます。

가지다
<1> [타동사] (手に·身に)持つ;取る;携える。
<2> [타동사] (心に)抱く;持つ。
해당　該当
ひと-つ [一つ]
<1>
1. [명사] 하나. 한. 〔동의어〕いち·ひと.
2. [명사] 동일함. 같음. 한가지. 일치함.
소명 [召命]
[명사] 召命。
<1> [명사] 王が臣下に下す命令。
任
 にん　まかす·まかせる
맡길 임(총획수 6획) 부수:亻 (2획)
막연히　漠然と
그치다
[자동사] 止む;止まる;終わる;途絶える。
그치다
[타동사] 止める;とどめる;終える。
기둥
<1> [명사] (建物などの)柱。
<2> [명사] (ものの)支え;支柱;つっかい。
풍요 [豊饒]
[명사]<하다형 형용사> 豊かなこと;裕福なさま。
유쾌 [愉快]
[명사·하다형 형용사] 愉快;楽しく気分が良いこと。
경우　場合
격조 [格調]
[명사] 格調;(文章·詩などがもつ)気品のある調子。
자체 [自體]
[명사] 自体;人や物の本体;それ自身;そのもの。

사이토 시게타(齊藤 茂太)
斎藤 茂太（さいとう しげた、1916年3月21日 - 2006年11月20日）は、日本の精神科医で医学博士。作家としても知られた。愛称はモタさん。

2009년 5월 20일 보낸 편지입니다.(2,359조회)

남모르게 흘린 땀과 눈물
ひそかに流した汗と、涙

"얼마 전에 맥이 그러더군.
"少し前にマックがそうしていたよ(そういっていたよ？)

'꿈을 이룬 사람들의 웃는 얼굴,
' 夢をかなえた人たちの笑う顔、

그 주름살에 숨어 있는 땀과 눈물의 흔적을
そのしわに潜んでいる、汗と涙の痕跡を

간과해서는 안 된다'고 말이지. 맥은 이 말에
看過出来ない'ということ。マックは、この言葉に

두 가지 의미가 담겨 있다고 하더군.
2つの意味が潜んるといっていたよ。

"하나는 '그 사람들이 지금은 웃고 있어서,
"一つは' この人たちが、今は笑っていて

편안하게 그 자리에 오른 것처럼 착각하기 쉽지만,
楽にその場所に、あがったように、錯覚しやすいが

그들이 그 과정에서 겪은 고통은 체험해 보지 않은
彼らが、その過程に経験した苦痛は、経験して見たことの無い

사람으로선 상상도 할 수 없다'는 거야. 또 하나는
人にとっては、想像も出来ない' ことだ。もう一つは、

'비록 그들이 꿈을 이루어서 겉보기에는 행복해 보이지만,
' たとえ彼らたちが、夢をかなえて見かけには幸福に見えても

그들 역시 우리와 다를 바 없이 남모를 고통과
彼らたちは、私たちと違うところなし(同じよう)に、他人には分からない苦痛と

슬픔을 겪고 있다'고 말이야."
悲しみを経験している' ということだ"

- 스탠 톨러의《행운의 절반 친구》중에서 -
- Stan Toler(ステン・トーラー?)の＜行動の半分の友人＞から -

* 국화밭을 걸을 때, 사람들은
* 菊畑を歩くとき、人たちは

아름다운 국화 꽃송이만 바라보기 쉽습니다.
美しい、菊の花房だけ眺めやすいです。

그 한 송이를 피우기 위해 봄부터 울어댄 소쩍새의 울음소리와
この一つの輪を咲かせるために、春からなき続けたホトトギスのなく声と

밤새 내린 차갑고 모진 무서리를 끝내 지나치기 쉽습니다.
夜に降りた冷たく角が立った初霜を、通り越し(見逃し)やすいです。

꽃보다 더 아름다운 꿈, 그 꿈을 일궈가는 웃음 뒤에는
花より美しい夢、この夢をなしてゆく微笑みの後には

누군가 아무도 모르게 흘린 땀과 눈물이 있습니다.
誰にも知られず、流した汗と、涙があります。

그것을 깨달을 때 진정한 사랑과
これを悟るとき、本当の愛と

감사를 나눌 수 있습니다.
感謝を区別することができます。

남-모르다
{자동사·르 불규칙활용} **主に‘남모르는·남모르게’の形で使われて:人知れず;ひそかに。**
그러더군. **そうしていたよ.**
주름-살
[명사] **(皮膚の)皺;しわの筋。**
간과 [**看過**]
[명사·하다형 타동사] **看過。**
<1> [명사·하다형 타동사] **おおざっぱに目を通すこと;ざっと見ること。**
흔적 [**痕迹·痕跡**]
[명사] **痕跡;跡形;跡;名残。**
하더군. **していたよ.**
겪다
<1> [타동사] **(苦難などを)経験する;(辛苦を)なめる;遭う;味わう。**
<2> [타동사] **(客を)もてなす。**
비록
[부사] **たとえ;もしそうであっても。**
겉-보기
[명사] **外観;外見;見掛け;うわべ;見たようす。**
바
[명사] **‘참바’の縮約形。**
바 없이 **ところなく**
절반 [**折半**]
[명사] **折半。**
<1> [명사] **半分;二分の一。**
국화밭 **菊畑**
걸:다
<1> [타동사] **(物を)掛ける;吊る;つるす。**
<2> [타동사] **(錠などを)掛ける;下ろす。**
꽃-송이
[명사] **花房。**
울어-대다
[자동사] **つづけてしきりに泣く;泣きしきる。**
소쩍-새
[명사] **『조류』ホトトギス;不如帰。**〔동의어〕두견이
모-지다
<1> [형용사] **(形が)角ばっている;角がある。**
<2> [형용사] **(性格·言動などが)円満でない;角立っている。**
무-서리
[명사] **薄い初霜。**
끝내 **終わらせて**
일궈가다 **成して行く**
진정 [**眞正**]

[명사·하다형 형용사] 真正。
<1> [명사·하다형 형용사] まちがいなくそれであるさま;何もまじっていないさま。
나누다
<1> [타동사] 分ける;分割する。
<2> [타동사] 分ける;分類する;区分する;区別する。
지나치다
<1> [자동사][타동사] (言動などが)度を越す;度が過ぎる;行き過ぎる。
<2> [자동사][타동사] 通り過ぎる;通り越す。
끝-내
[부사] とうとう;ついに;ずっと。

스탠 톨러(Stan Toler)
ステン・トーラー？検索してみましたがよく分からず

2009년 5월 21일 보낸 편지입니다.(1,044조회)

상사병(上司病)
上司病

대한민국의 수많은
大韓民国の数多くの

착한 직장인들은 상사병으로 몸살을 앓고 있다.
善良な職場の人たちは、上司病で体を患っている。

어느 순간 가슴이 답답해져오는가 하면 생각만 해도
ある瞬間、胸が息苦しくなってくるとかすれば、考えだけでも

뒷목이 뻣뻣해진다. 이 병은 난치병이라 치료가
首の後ろが、硬直するようになる。この病気は、難病で治療が

쉽지 않다는 데 문제의 심각성이 있다.
やさしくなことに問題の深刻性がある。

게다가 이 병은 전염도 잘된다.
そのうえ、この病気は、よく伝染もする。

욕하면서 배운다는 말이 있듯이
悪口を言いながら学ぶという言葉があるように

상사병의 피해자라면서 상사를 비난하던
上司病の被害者でありながら、上司を非難した

부하 직원들이 대부분 승진을 하면서
部下職員たちが、大部分昇進し

상사의 모습을 그대로 닮아간다.
上司の姿をそのまま、真似ていく

- 우종민의《남자심리학》중에서 -
- ウ・ジョンミンの<男性心理学>より-

* 직장인이라면 누구나
* 職場の人々なら誰でも

한두 번쯤은 그 고약한 난치병에 걸립니다.
1、2回くらいは、そのひどい難病にかかります。

문제는 상사를 통해 고칠 수 없다는 점입니다.
問題は、上司を通じて直すことが出来ない点です。

결국은 자신이 적응하고 고쳐가야 하는 병입니다.
結局は、自身が適応して、直さなければならない病気です。

잘 적응해서 상사와 '우호적 관계'를 갖는 것이 최선이지만
よく適応して、上司と”友好的関係”を持つことが最善だが

'적대적 관계'로까지는 악화되지 않게 해야 합니다.
”敵対的関係”までは、悪化しないようにしなければなりません。

자기 윗사람과의 조화도 고도의 능력입니다.
自分の上の人との調和と高度の能力です。

그 능력이 모자라면 상사병도 깊어지고
この能力が、足りなければ上司病も深くなって

치유는 더 어렵습니다.
治癒は難しいです。

착-하다
{형용사·여 불규칙활용} 善良だ;おとなしい。
답답-하다
<1> {형용사·여 불규칙활용} 気がかりだ;心配だ。
생각만 해도 考えだけでも
<2> {형용사·여 불규칙활용} 息苦しい;息が詰まる。
뒷목 後首
뻣뻣-하다
<1> {형용사·여 불규칙활용} (物または手足などが)こちこちだ;こわばっている;こわい;硬直している。
<2> {형용사·여 불규칙활용} (糊気が多くて)こわい;硬い。
난치-병 [難治病]
[명사] 難治の病気。
심각성 深刻性
전염 [傳染]
욕하다 悪口を言う

[명사·하다형 자동사] 伝染。
<1> [명사·하다형 자동사] 病原体がある個体から他の個体に侵入して病気を引き起こすこと。
있듯이 あるように
승진 [昇進·陞進]
[명사·하다형 자동사] 昇進;陞進;地位がのぼり進むこと。
고:약-하다
<1> {형용사·여 불규칙활용} (味·におい·音などが)悪い;ひどい;不快だ。
<2> {형용사·여 불규칙활용} (性質·言動などが)悪い;気難しい;ふとどきだ。
적응 [適應]
[명사·하다형 자동사] 適応。
<1> [명사·하다형 자동사] ある条件や要求などにあてはまること。
적대적 敵対的
고도 高度
모:자라다
<1> [자동사][형용사] (ある基準や程度に)満たない;足りない;不足である。
<2> [자동사][형용사] 頭の働きが普通以下である;うす馬鹿である;足りない。

2009년 5월 22일 보낸 편지입니다.(1,351조회)

역사적 순간
歴史的瞬間

1963년 16세의 빌 클린턴은
１９６３年１６歳のビル・クリントンは

민간훈련기구인 '보이스 네이션'(Boys Nation) 대표로
民間訓練機構である”ボーイズネーション(Boys Nation) ”代表として

뽑혀 워싱턴에 갔다. 각 대표들은 케네디 대통령과 악수를 했으며,
選ばれワシントンに行った。各代表たちはケネディー大統領と握手をした

기록영화와 사진 자료들은 케네디와 어린 클린턴이 악수하면서
記録映画と写真資料は、ケネディーと幼いクリントンが握手しながら

마주 보고 웃는 장면을 보여준다. 클린턴이 대통령이 되겠다는
向かい合って笑う場面を見せててくれる。クリントンが大統領になろうと

꿈을 키우기 시작한 것은 케네디와 악수했던 그날부터라고
夢を育て始めたことはケネディーと握手した、その日からだと

한다. 어린 클린턴에게 큰 영향을 미친 또 한 가지는
いう。幼いクリントンに大きな影響を及ぼした、もう一つは

마틴 루터 킹 목사의 "나에게는 꿈이 있습니다"라는
マーティンルーサーキング牧師の”私には夢がある”という

유명한 연설로, 클린턴은 그 내용을
有名な演説で、クリントンはその内容を

전부 암기했다고 한다.
全部暗記したという

- 에드윈 무어의《그 순간 역사가 움직였다》중에서 -
- エドウィン・ムアの＜その瞬間歴史が動いた＞より -

* 누구든 그 개인의 삶에 '역사적 순간'이 있습니다.
* 誰でも、その個人の人生に”歴史的瞬間”があります。

누구가를 만난 순간, 한 줄기 섬광과도 같은 '꿈의 불화살'이
誰かに会った瞬間、一筋の閃光のような”夢の火矢”が

가슴에 꽂힌 순간, 그의 인생이 바뀌기 시작합니다.
胸に刺さった瞬間、彼の人生が変わり始めます。

다른 사람의 인생을 바꾸고 역사를 바꿉니다.
他人の人生をかえて、歴史を変えます。

어린 시절 한 사람의 '역사적 순간' 때문에
幼い時代の一人の”歴史的瞬間”のために

세상 역사가 새롭게 다시 쓰여집니다.
世界の歴史が新しく、書かれます。

기구 [機構]
[명사] 機構。
<1> [명사] 組織をなしている構造的体系。
자:료 [資料]
[명사] 資料;デ―タ;たね。
마주
[부사] 向かい合って。
미치다
<1> [자동사][타동사] (ある場所に)至る;届く。
<2> [자동사][타동사] (ある事柄に話や思いが)及ぶ。
영:향 [影響]
[명사] 影響。
줄기
<1> [명사] (木の)幹;つる。
<2> [명사] (ものの)流れ;筋;脈。
불　火
화살
[명사] 矢。
섬광 [閃光]
[명사] 閃光;瞬間的にきらめく光。
꽂히다
[자동사] '꽂다'の受動:差される;刺される;挿される。
쓰여 지다　使われる
쓰이다
[자동사] 書ける;書かれる。

에드윈 무어(EDWIN MOORE)
エドウィン・ムア？？検索しても分からず

2009년 5월 23일 보낸 편지입니다.(235조회)

매주 토요일엔 독자가 쓴 아침편지를 배달해드립니다.
毎週土曜日には、読者が書いた朝の手紙を配達いたします。

오늘은 이흥성님께서 보내주신 아침편지 입니다.
今日は、イ・フンソンさまから、送っていただいた朝の手紙です。

말 한마디와 천냥 빚
言葉一つと千両の借金

천사와
天使と

악마의 차이는
悪魔の差異は

모습이 아니라
姿ではなく

그가 하는 말입니다.
彼らが話す言葉だ。

당신의 말에는 어떤 향기가 납니까?
あなたの言葉からは、どんな香りが出ますか？

- 할 어반의《긍정적인 말의 힘》중에서 -
- ハル・アーバンの＜肯定的である言葉の力＞より -

* 말 한마디에 천냥 빚을 갚는다고 합니다.
* 言葉一つで、千両の借金を返すといいます。

말 한마디가 살아가면서 얼마나 중요한지를 이야기합니다.
言葉一つが、生きていきながらどれだけ重要なのかを話します。

설득력 있는 말, 능력있고 힘이 있는 말, 받아들이는 사람을
説得力のある言葉、能力があって力のある言葉、受け止める人と

현혹하지 않는 정직하고 올바른 말을 하기 위해서는
迷わない常識で、正しい言葉を話すためには

긍정적인 마음의 상태여야만 가능하겠지요.
肯定的な心の状態であることだけが、可能でしょう。

긍정적인 말과 부정적인 말의 차이는...
肯定的である言葉と、否定的である言葉の差異は・・・

사람의 마음을 열고 닫게 하는 차이이고,
人の心を開いて、閉ざされている差異は・・

그것이 곧 천사와 악마의 차이이며,
それがまさに、天使と悪魔の差異であり

좋은 향기와 그렇지 못한 향기의
よい香りと、そうでない香りの

차이란 생각을 해봅니다.
差異だとの考えています。

천-냥 [千兩]
[명사] 千両;非常な大金を意味する語。
빚
[명사] 借り;借金;負い目;借財。〔동의어〕부채(負債)
천사 [天使]
[명사] 天使。
<1> [명사] 天子の使臣を諸侯の国でいう語。
갚다
<1> [타동사] (借りたものを)返す;返済する。
<2> [타동사] (恩などに)報いる;応える。
현:혹 [眩惑]
[명사·하다형 자·타동사] 眩惑;目がくらんで惑うことや惑わすこと。
올:-바르다
{형용사·르 불규칙활용} 正しい;公平だ;正直だ。
해보다 して見る

할 어반(Hal Urban)
ハル・アーバン
アメリカの教育者、著述家、講演家。サンフランシスコ大学で歴史学の修士号と教育心理学の博士号を取得後、スタンフォード大学で心理学を研究。長らく高校教師を務めたあと、サンフランシスコ大学などで教鞭をとる。全米の中学、高校、大学、地域のイベントで講演活動を行って高い評価を得る。現在、夫人とともにカリフォルニア州で暮らす